

スピリッツ

久慈工魂

生徒の輝く姿が見える楽しい学校



中学校の先生方に授業公開(11/12)

「小学生に向けた読み聞かせ活動」

第25回いわてユネスコ賞活動奨励賞 受賞

本校図書委員会は、11月17日(火)に岩手県ユネスコ協会連盟から、長年、野田小学校の児童と交流している「読み聞かせ活動」が地域の貢献や世代間の交流につながっていると評価され、同連盟の遠藤洋一副会長より「いわてユネスコ活動奨励賞」の表彰を受けました。この活動は東日本大震災後(平成26年)、当時の図書委員の生徒達が「地域のために何かできないか」との思いから始まりました。毎月1回程度、図書委員の生徒が絵本を野田小の各クラスで読み聞かせをしています。現在まで7年間引き継がれています。委員長の橋本 涼太(CE3)さんは、「これまでの活動が評価され大変うれしいです。本の楽しさを伝えることで自分たちも元気をもらっています。」と話していました。また、当時、小学生だった北田 乙紗(CE1)さんは、「当時の楽しい思い出が今でも心に残っています。今度は伝える側として頑張りたいです。」と意気込みを話してくれました。



本校図書委員会は、11月17日(火)に岩手県ユネスコ協会連盟から、長年、野田小学校の児童と交流している「読み聞かせ活動」が地域の貢献や世代間の交流につながっていると評価され、同連盟の遠藤洋一副会長より「いわてユネスコ活動奨励賞」の表彰を受けました。この活動は東日本大震災後(平成26年)、当時の図書委員の生徒達が「地域のために何かできないか」との思いから始まりました。毎月1回程度、図書委員の生徒が絵本を野田小の各クラスで読み聞かせをしています。現在まで7年間引き継がれています。委員長の橋本 涼太(CE3)さんは、「これまでの活動が評価され大変うれしいです。本の楽しさを伝えることで自分たちも元気をもらっています。」と話していました。また、当時、小学生だった北田 乙紗(CE1)さんは、「当時の楽しい思い出が今でも心に残っています。今度は伝える側として頑張りたいです。」と意気込みを話してくれました。



橋の点検作業・診断に挑戦

11月25日(水)に建設環境科2年環境土木コース8名の生徒達が、岩手県県土整備部道路環境課の指導の下、久慈地区の県道の橋の点検や現状を診断する学習に取り組みました。橋は、建設後50年経過すると老朽化が進み崩壊の危険性が高くなると言われています。岩手県の橋も10年後(2030年)には50年を経過する橋が50%以上となり、橋の腐食や亀裂の状況を正確に診断し、維持管理をすることがとても重要となってきています。普段、橋を含め構造物を造るための学習を行っていますが、今回の体験はとても貴重な体験です。これから更に調査を進め、正確に橋の健全性を診断できる知識を身につけ、調査したことを岩手県に提言できるよう頑張ってください。



音読教室

11月27日(金)に1・2年生を対象に話し方やスピーチの向上を目的として、「音読教室」を開催しました。講師には、(株)KOTISE音楽教室代表取締役の佐藤くみこ氏をお招きました。音をきれいに相手に伝える「滑舌」を、早口言葉を通じて指導していただきました。普段、言いにくい言葉を毎日トレーニングすることで、滑舌に必要な筋肉が鍛えられより良く伝えることができるようになるそうです。早口言葉の難易度が上がると、戸惑う生徒もいましたが、繰り返し挑戦する姿も見られ、楽しみながら学べた時間でした。

